【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成22年10月28日(2010.10.28)

【公開番号】特開2008-28955(P2008-28955A)
【公開日】平成20年2月7日(2008.2.7)
【年通号数】公開・登録公報2008-005
【出願番号】特願2006-202521(P2006-202521)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/91　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/387　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　1/00　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　13/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/93　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/393　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/91　Ｊ
Ｈ０４Ｎ　1/387
Ｇ０６Ｔ　1/00　３４０Ａ
Ｇ０６Ｔ　13/00　Ｃ
Ｈ０４Ｎ　5/91　Ｎ
Ｈ０４Ｎ　5/93　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　1/393

【手続補正書】
【提出日】平成22年9月14日(2010.9.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の元画像からそれぞれ切り出した画像を順番に自動再生する自動再生方法であって、複数に分割されたマルチ画面の各分割領域に、前記切り出した画像を順番に配置しながら該マルチ画面を更新する自動再生方法において、
前記元画像から再生する画像を切り出す際に、該元画像が人物の顔画像を含んだ画像か否かを判別する工程と、
前記元画像が人物の顔画像を含んだ画像であると判別されると、該元画像から顔画像を含む顔領域の画像を切り出し、前記元画像が人物の顔画像を含んでいない画像であると判別されると、予め設定された切り出し領域の画像を切り出す工程と、
前記切り出した画像を前記マルチ画面の分割領域に配置する工程と、
を含むことを特徴とする自動再生方法。
【請求項２】
前記元画像が複数の人物の顔画像を含んだ画像の場合には、該元画像から各顔画像を含む顔領域の画像をそれぞれ切り出し、該切り出した複数の顔領域の画像を順番に前記マルチ画面の分割領域に配置することを特徴とする請求項１に記載の自動再生方法。
【請求項３】
前記複数の顔領域の画像を順番に前記マルチ画面の分割領域に配置する際に、その配置順序を顔画像の大きさ、顔の確からしさ度、及び顔の位置の少なくとも１つの情報に基づ

いて決定することを特徴とする請求項２に記載の自動再生方法。
【請求項４】
前記顔画像の大きさ、顔の確からしさ度、及び顔の位置の情報のうちの任意の情報を選択する工程を含み、前記複数の顔領域の画像を順番に前記マルチ画面の分割領域に配置する際に、前記選択された情報に基づいて配置順序を決定することを特徴とする請求項２に記載の自動再生方法。
【請求項５】
前記顔画像の傾き角度を取得する工程を含み、前記切り出した顔領域の画像を前記マルチ画面の分割領域に配置する際に、前記取得した傾き角度に基づいて顔画像が正立するように画像回転させることを特徴とする請求項１から４のいずれかに記載の自動再生方法。
【請求項６】
前記元画像が縦撮りされた縦長画像か横撮りされた横長画像かを判別する工程を含み、
前記元画像が縦長画像の場合には、該元画像から縦長の顔領域の画像を切り出し、前記元画像が横長画像の場合には、該元画像から横長の顔領域の画像を切り出し、
前記切り出した縦長の顔領域の画像を前記マルチ画面の縦長の分割領域に配置し、前記切り出した横長の顔領域の画像を前記マルチ画面の横長の分割領域に配置することを特徴とする請求項５に記載の自動再生方法。
【請求項７】
複数の元画像からそれぞれ切り出した画像を順番に自動再生する機能であって、複数に分割されたマルチ画面の各分割領域に、前記切り出した画像を順次配置しながら該マルチ画面を更新するオートプレイマルチ機能を有する自動再生装置において、
複数の元画像が記憶された記憶手段から自動再生する元画像を読み出す読出手段と、
前記読み出した元画像が人物の顔画像を含んだ画像か否かを判別する判別手段と、
前記元画像が人物の顔画像を含んだ画像であると判別されると、該元画像から顔画像を含む顔領域の画像を切り出し、前記元画像が人物の顔画像を含んでいない画像であると判別されると、予め設定された切り出し領域の画像を切り出すトリミング手段と、
前記マルチ画面を表示する画像表示手段と、
前記トリミング手段によって切り出した画像を前記マルチ画面の分割領域に配置してマルチ画面を更新する画像更新手段と、
を備えたことを特徴とする自動再生装置。
【請求項８】
前記トリミング手段は、前記元画像が複数の人物の顔画像を含んだ画像の場合には、該元画像から各顔画像を含む顔領域の画像をそれぞれ切り出し、
前記画像更新手段は、前記切り出した複数の顔領域の画像を順番に前記マルチ画面の分割領域に配置することを特徴とする請求項７に記載の自動再生装置。
【請求項９】
前記画像更新手段は、前記元画像から切り出した複数の顔領域の画像を順番に前記マルチ画面の分割領域に配置する際に、その配置順序を顔画像の大きさ、顔の確からしさ度、及び顔の位置の少なくとも１つの情報に基づいて決定することを特徴とする請求項８に記載の自動再生装置。
【請求項１０】
顔画像の大きさ、顔の確からしさ度、及び顔の位置の情報のうちの任意の情報を選択する選択手段を有し、
前記画像更新手段は、前記元画像から切り出した複数の顔領域の画像を順番に前記マルチ画面の分割領域に配置する際に、前記選択手段によって選択された情報に基づいて配置順序を決定することを特徴とする請求項８に記載の自動再生装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
前記目的を達成するために請求項１に係る発明は、複数の元画像からそれぞれ切り出した画像を順番に自動再生する自動再生方法であって、複数に分割されたマルチ画面の各分割領域に、前記切り出した画像を順番に配置しながら該マルチ画面を更新する自動再生方法において、前記元画像から再生する画像を切り出す際に、該元画像が人物の顔画像を含んだ画像か否かを判別する工程と、前記元画像が人物の顔画像を含んだ画像であると判別されると、該元画像から顔画像を含む顔領域の画像を切り出し、前記元画像が人物の顔画像を含んでいない画像であると判別されると、予め設定された切り出し領域の画像を切り出す工程と、前記切り出した画像を前記マルチ画面の分割領域に配置する工程と、を含むことを特徴としている。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
請求項２に示すように請求項１に記載の自動再生方法において、前記元画像が複数の人物の顔画像を含んだ画像の場合には、該元画像から各顔画像を含む顔領域の画像をそれぞれ切り出し、該切り出した複数の顔領域の画像を順番に前記マルチ画面の分割領域に配置

することを特徴としている。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
請求項３に示すように請求項２に記載の自動再生方法において、前記複数の顔領域の画像を順番に前記マルチ画面の分割領域に配置する際に、その配置順序を顔画像の大きさ、顔の確からしさ度、及び顔の位置の少なくとも１つの情報に基づいて決定することを特徴としている。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
請求項４に示すように請求項２に記載の自動再生方法において、前記顔画像の大きさ、顔の確からしさ度、及び顔の位置の情報のうちの任意の情報を選択する工程を含み、前記複数の顔領域の画像を順番に前記マルチ画面の分割領域に配置する際に、前記選択された情報に基づいて配置順序を決定することを特徴としている。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
請求項５に示すように請求項１から４のいずれかに記載の自動再生方法において、前記顔画像の傾き角度を取得する工程を含み、前記切り出した顔領域の画像を前記マルチ画面の分割領域に配置する際に、前記取得した傾き角度に基づいて顔画像が正立するように画像回転させることを特徴としている。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
請求項６に示すように請求項５に記載の自動再生方法において、前記元画像が縦撮りされた縦長画像か横撮りされた横長画像かを判別する工程を含み、前記元画像が縦長画像の場合には、該元画像から縦長の顔領域の画像を切り出し、前記元画像が横長画像の場合には、該元画像から横長の顔領域の画像を切り出し、前記切り出した縦長の顔領域の画像を前記マルチ画面の縦長の分割領域に配置し、前記切り出した横長の顔領域の画像を前記マルチ画面の横長の分割領域に配置することを特徴としている。
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
請求項７に係る発明は、複数の元画像からそれぞれ切り出した画像を順番に自動再生する機能であって、複数に分割されたマルチ画面の各分割領域に、前記切り出した画像を順次配置しながら該マルチ画面を更新するオートプレイマルチ機能を有する自動再生装置において、複数の元画像が記憶された記憶手段から自動再生する元画像を読み出す読出手段と、前記読み出した元画像が人物の顔画像を含んだ画像か否かを判別する判別手段と、前記元画像が人物の顔画像を含んだ画像であると判別されると、該元画像から顔画像を含む顔領域の画像を切り出し、前記元画像が人物の顔画像を含んでいない画像であると判別されると、予め設定された切り出し領域の画像を切り出すトリミング手段と、前記マルチ画面を表示する画像表示手段と、前記トリミング手段によって切り出した画像を前記マルチ画面の分割領域に配置してマルチ画面を更新する画像更新手段と、を備えたことを特徴としている。
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
請求項８に示すように請求項７に記載の自動再生装置において、前記トリミング手段は、前記元画像が複数の人物の顔画像を含んだ画像の場合には、該元画像から各顔画像を含む顔領域の画像をそれぞれ切り出し、前記画像更新手段は、前記切り出した複数の顔領域の画像を順番に前記マルチ画面の分割領域に配置することを特徴としている。
【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
請求項９に示すように請求項８に記載の自動再生装置において、前記画像更新手段は、前記元画像から切り出した複数の顔領域の画像を順番に前記マルチ画面の分割領域に配置する際に、その配置順序を顔画像の大きさ、顔の確からしさ度、及び顔の位置の少なくとも１つの情報に基づいて決定することを特徴としている。

【手続補正２１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
請求項１０に示すように請求項８に記載の自動再生装置において、顔画像の大きさ、顔の確からしさ度、及び顔の位置の情報のうちの任意の情報を選択する選択手段を有し、前記画像更新手段は、前記元画像から切り出した複数の顔領域の画像を順番に前記マルチ画面の分割領域に配置する際に、前記選択手段によって選択された情報に基づいて配置順序を決定することを特徴としている。